

令和4(2022)年度
東京大学 大学院総合文化研究科 広域科学専攻

生命環境科学系 博士後期課程
(令和3(2021)年度 10月入学希望者)

入学試験の留意事項

注意) 本スライドは入学試験の概要について説明するものです。正式には、改訂版の募集要項・入学試験案内・出願課題を参照してください。

小論文に関する留意事項

(注：小論文提出該当者のみ)

- 審査は評価観点（課題ファイル内に記載）に沿って行われるため、評価観点を踏まえた記述とすることが望ましい。
- 「**作成した解答に対して**、総合文化研究科教員へ助言や事前確認を求める行為」を不正行為とみなす。提出された解答において総合文化研究科教員の添削等の指導行為が判明した場合も不正行為となる。
- 「**研究テーマや計画の内容について**、総合文化研究科教員と相談すること」は不正行為とみなさない。研究室選択や入学後の研究実施等に必要なことであれば問題ない。
- 「**作成した解答に対して、総合文化研究科教員を除く**他者へ助言や事前確認を求める行為」は不正行為とみなさないが、本試験の趣旨を踏まえると望ましい行為ではないことを留意しておくこと。
- 解答を他者（特に総合文化研究科教員）が閲覧可能な状態で保管することは不正の疑念を生じる可能性もあることを留意し、慎むこと。
（例、研究室など公的場所での管理、共有フォルダでの保存など）

口述試験に関する留意事項

(注：口述試験該当者のみ)

- オンラインで実施することを除き、例年と同内容で実施する。
- 出願課題（小論文）の内容について口述試験で説明する必要はない。

その他の留意事項

- 口述試験はオンラインで行う。不慣れな者は早めに準備に取り掛かること。口述試験のガイドライン（接続方法等）は口述試験対象者に電子メールにより送付する。令和3(2021)年8月5日(木)17時までに受信できなかった場合は、本研究科事務部に問い合わせること。
- パソコン及びカメラ（コンピュータの内蔵カメラまたはウェブカメラ）等を準備のうえ、周囲に人のいない静謐な環境で受験すること。（詳細は募集要項および口述試験のガイドラインを参照）
- 事務手続きにおいて、例年とは異なる点がある。間違いのないよう準備すること。